

審査基準

審査の項目	審査の視点	配点
企画・運営の内容	① 県内企業への就職・転職数の KPI を達成につながる定員や就職支援の内容となっているか。	40
	② 基礎的な知識を習得した上で、実践的なシステム開発技術を有するエンジニアの育成につながるカリキュラム内容となっているか。	30
	③ 県内企業への就職につながる実践的な技術を習得するために効果的な開発プロジェクト内容となっているか。	30
	④ 受講者の受講意欲の喚起及び効率的・効果的な知識・技術の習得を担保し、すべての受講者が修了まで継続的に学習できる仕組みが構築されているか。	20
広報企画	<p>① 県内の求職者や転職希望者に効果的にアプローチし、受講者の確保につながる広報企画となっているか。</p> <p>② 受講者の確保につながる説明会の内容となっているか。</p>	30

審査の項目	審査の視点	配点
実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 責任者の位置づけが明確であり、プログラミング初学者を含む受講者を十分にサポートし、主体的に作業が進められる人員・体制となっているか。</li> <li>② それぞれの業務についての役割が明確に記載されているか。</li> <li>③ 十分な能力、経験及び実績を有する現場責任者、講師及び担当者を配置しているか。</li> </ul>	20
業務実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 提案内容と類似の業務実績があり、円滑な業務の遂行が見込めるか。</li> <li>② 要求水準を満たす能力はあるか。</li> </ul>	20
経費見積	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 事業執行に必要な経費が適正に積算されているか。</li> <li>② 効果的な事業施行が見込まれる経費が積算され配分が適当か。</li> </ul>	10